

# 第1回 大島学園 学園運営協議会 議事録

R5.5.12

## 1. 開会行事

学校長挨拶、会員自己紹介、委嘱状贈呈、会長・副会長承認

## 2. 議事

### ①大島学園経営構想及びフェリー通学について

阿部校長

本日はご承認していただきたいことが2点あります。資料をご覧ください。本年度の大島学園の学園運営構想ですが、本年度学校がどのように子どもを育てていくかをまとめたものです。令和5年度学校が頑張りたいことは大きく2つあります。1つ目は学校の中でしっかりと授業を頑張って子どもたちの学力を上げていくということです。受け身の学習ではなく、自分から学習に向かっていく子どもを育てていきたいと思っています。そのため取り組みの一つが昨年からはじめた「学習ガイダンス」です。教師と生徒がしっかりと課題に向き合い解決するための策を考えていきます。ただ、学習とは学校だけでできるものではなく、家庭の力が必要です。昨年もPTAで取り組んだ「家庭学習」もその一つです。学校と家庭の学習を協働させながら自ら学習に向かう子どもを育成していきたいと思っています。2つ目は「大島ふるさと学習」です。CSを中心として大島ならではの学習を「総合的な学習の時間」として取り組んでいきます。その内容は「地域活性」「防災・福祉」「世界遺産」の3つです。地域の協力のもと学習を進め、昨年度からCOP大島の方々にも協力していただいています。

佐藤会長

子どもの成長とその姿を中心に作っていただいた学園経営構想何ですが、皆さんいかがでしょうか。承認いただけるでしょうか。拍手をお願いします。(全員拍手)ありがとうございます。今後ますます子どもを中心に素晴らしい学園が作られていくのではないかと思います。いずれは子どもたちにはっぱをかけられながら我々大人が動いていかなければならないでしょう。それに負けないように頑張っていきましょう。それでは2点目、フェリー通学について、阿部校長、お願いします。

阿部校長

フェリー通学については昨年度の学園運営協議会最終回に提案しました。家庭、地域、学校、それぞれの立場で、おおむね了解を得ています。今回はその内容を確認し、コミュニティースクールの名で教育委員会に要望書をあげていきたいと思っています。

## 3. 質疑応答

佐藤会長

地域としてもその動きに賛同できる、反対する理由は何もないとなっています。すぐに動いていきたいと思っています。学校、地域、家庭としてもそのような空気になっている。学園運営協議会としてもその空気感を大事にし、今後の活動に活かしていきたいと思っています。賛同していただけるならば拍手をお願いします。(全員拍手)

佐藤会長

本日は高宮教育長も参加していただいていますので、ご意見を伺えたらと思います。

## 高宮教育長

今の率直な感想ですが、私はぜひ実現させたいという気持ちでおります。隣の地島では生徒が二人しかいない。通常であれば分校になってしまう。しかしいまだに地島小学校として存続している。そこには地域の方々の熱い願いがあり、5人の漁村留学生を受け入れている。すると島の子どもたちは色々な出会いを通して様々なことを学び合っている。話を大島に戻しますと、これから先は、校長も申しておりましたが、「自分で考えて、人に発信する」といった人材が求められます。そういう意味では大島もフェリー通学を実現することで、子どもたちも刺激を受け間違いなく高まっていくと思います。

## 佐藤会長

よろしくお願いします。それでは10分の休憩後、「家庭との協働」部会と「地域との協働」部会に分かれて本年度の取り組みについて協議を行います。

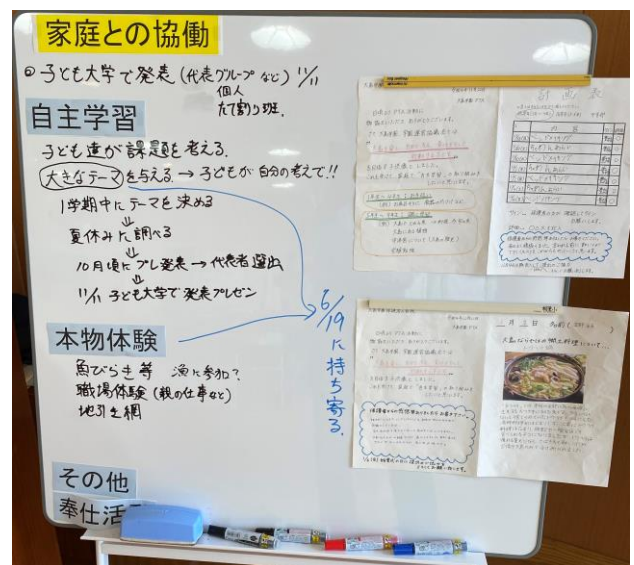
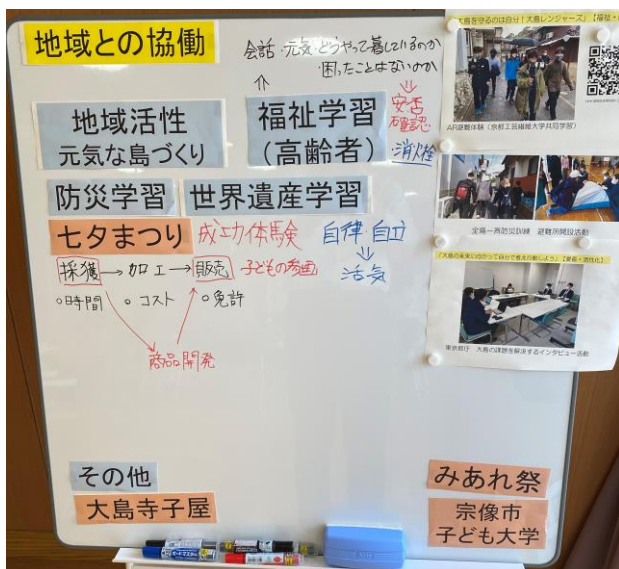
## 4. 議事

### ①大島学園経営構想及びフェリー通学について

○各部会で本年度の取り組みについて検討し、ホワイトボードにまとめたもの。

#### 家庭との協働部会

#### 地域との協働部会



### ○教育委員会より (地域教育連携室 萩野係長)

本日はありがとうございました。本日の会議は目標に向けてのカリキュラムの構築という話し合いでした。学校がやること、地域がやること、家庭がやることを目標についてそれぞれが意識しながらの話し合いでした。皆さんがしっかりと話し合われているのを見て、CSがしっかりと前に進んでいると感じました。

## 5. 閉会行事

### 高宮教育長より

最後の協議をそばで聞かせていただいて、皆さんの熱い思いがよくわかりました。学校の方は阿部校長を中心に宗像市の教育政策をきちんと取り入れながら進めていただいています。あと、フェリー通学の件、どうぞ協力のほどよろしくお願いします。一番は子どもたちが元気づきます。いろいろな刺激を受けて未来に向かって進んでいきます。最後に、いろいろな方が島のことを考え、力を発揮していただいていることに心強く感じ、深く感謝します。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。